



体験入学で、日本人学校の質が問われる（分かる）

校長 永井 修

■「2学期からも来たい！」

何人かの体験入学の子たちや、保護者の方から聞いた言葉です。

様々な家庭の事情や教育方針等で、学ぶ場所は違っても、「また来たい」と思える3週間になったのであれば、日本人学校の子供たちや教職員にとって、これ以上嬉しいことはありません！

■「給食が100点だった😊」

この言葉を体験入学の子から聞きました、と教頭先生より嬉しい報告を伺いました。普段通う学校の給食とどう違うのかは分かりませんが、給食は、その味に加えて、喫食中の雰囲気も大事だと思います。

全部ひっくるめて、その子は“100点”をつけてくれたのかな、と思いました。

ぎりぎりまで温めて、または直前まで冷やして、できたて同様の給食を提供している本校職員にとって、最高の誉め言葉！

■「ありがとう」「またね」のハグ

体験最終日の18日、駐車場での下校見送りの際、同級生や担任、教科でお世話になった教員らとハグをして、別れを惜しむ様子が見られました。最初は「行きたくない」「緊張するな」と思っていた子もいるはずです。そこを「ありがとう」と思わせてしまうバル日の子たち、すごいです！

■「また学習発表会の日に来ます」

バス見送りの際、何人かの子が私に「学習発表会に来ます」と言ってくれました。

そう言った子にとって、この“バル日”が、また帰ってきたい場所になったのかもしれないな、と嬉しく思いました。

体験入学では、その学校の質が問われる（分かる）と、校長として常に考えています。

- ・ 体験学習前のやりとりに、ストレスを感じるものではなかったか
- ・ 説明は十分だったか
- ・ 体験開始後の学校の雰囲気や教師の対応は、明日も通わせたい、と思えるものであったか

でも、左に書いたような子どもたちの言葉や様子からは、学校としての課題はあったとしても、バル日の子どもたちは100点満点の触れ合いができた！と胸を張って言えます。

本校の良さが体験の子たちに、保護者の方々に伝わった3週間になっていれば、嬉しく思います。

【1学期学校開放は、いかがでしたか？】

2024年度の保護者の皆様からのご意見にあった「秋の学校開放以外にも、開放期間を」というご意見をもとに、本年始めて1学期の学校開放を行いました。おかげで、本校の保護者に加え、体験入学保護者の方にもご来校いただきました。

「参観日と違って、いろんな学年や先生方の授業の様子が見られて、開放ならではのよさがある」というご意見を、保護者の方から頂戴しました。

学校が身近になり、お子様や学校の様子が少しでも伝わっていれば幸いです。

最後になりましたが、保護者及び関係者の皆様の教育活動へのご理解とご協力に、感謝申し上げます。

▼私は、授業中に、下手ですがシンプルなイラストをよく黒板に描きます▼本年6月は、「ミッフィー」誕生70年でした。ご存じのとおり、キャラクターは至ってシンプル。使う色は6色。顔は2つの点とXだけ。でも、ここにこそ、作者ディック・ブルーナさんのこだわりがあります▼たった一本の線の描き方で、伝わるものは変わります。だからこそ1枚の絵を100回以上描き直すことも。その惜しまぬ努力を経て、世界中で愛されるミッフィーの絵本は生まれました▼絵と同じく、言葉も行動もシンプルであるほど美しく強いと思います。“複雑な現実に向かい合うなら思考を複雑にしない”“難しいことを簡単に伝える力を付けること”“誠実に役割を果たすこと”を改めてブルーナさんから教わりました。

夏季体験入学

今年度は、小学部 10 名、中学部 2 名、計 12 名の児童・生徒が参加し、バルセロナ日本人学校での学びと生活を体験しました。新しい仲間たちと協力しながら学びを深めていく姿が印象的で、互いを思いやる行動も数多く見られました。

来年度のご参加もお待ちしています！

来年度も、より多くの幼児・児童・生徒の皆さんにこの貴重な体験をしていただけるよう、準備を進めてまいります。夏季以外の時期にも不定期で体験入学を受け入れております。ご興味のあるご家庭は、どうぞお気軽に学校までお問い合わせください。

バルセロナという国際都市の中で、日本の教育と文化に触れることができる本校ならではの学びの場を、ぜひ多くの方に体験していただければと思います。



進路講演会(中学部)を行いました

7月15日(火)にAC Clinic バルセロナの中山あすか氏を講師にお招きし、進路講演会を実施させていただきました。

中山先生のご講演を通して、進路を選ぶという行為が単なる職業選択ではなく、「自分がどのように生きたいか」を問う大切なプロセスであることに生徒は気づかされた、貴重な時間となりました。

中山先生の熱意あるご講演と温かなお人柄は、これから進路を考えていく生徒たちにとって大きな励みとなりました。誠にありがとうございました。



スペインランチづくり

7月21日(月)、3・4年生による「スペインランチづくり」を行いました。今回のメニューは、「ガスパチョ」「パン・コン・トマト」「トルティージャ」の3品。子どもたちはグループに分かれて、材料の準備から調理までを楽しみながら取り組みました。

スペインの伝統的な料理に触れることで、食文化を学ぶだけでなく、「どうしてこの料理が生まれたのか」「どんな場面で食べられているのか」など、料理を通してスペインという国への興味・関心が深まる貴重な時間となりました。

できあがった料理をみんなで味わいながら、異なる文化への理解を深めるひときは、普段では得られない学びにあふれていました。

